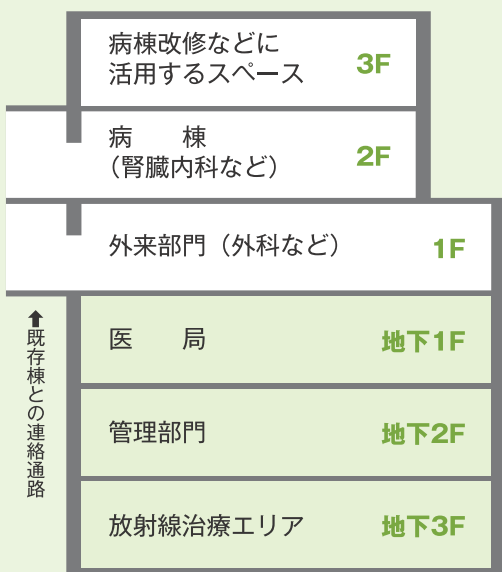


01 岡崎市民病院の新棟「西棟」が完成しました

地域の中核病院としての医療水準の確保及び多様化・高度化する医療ニーズに対応するため、平成24年から建設を進めてきた新棟「西棟」が完成しました。10月から新病棟（50床）を稼働します。また、がん治療の充実を図るため、放射線治療装置を導入し、平成26年2月からの治療開始を目指します。

西棟施設概要

地上3階地下3階の6階建て。



外来部門の一部が西棟へ移動します

10月中旬に外科、消化器外科、小児外科、血液内科、産婦人科、化学療法室が既存棟から移動し

ます。また、診療スペースなどの充実を図るため、既存棟を改修し、腎臓内科、口腔外科、眼科、血液浄化センターなどを順次移動します。

がん診療拠点病院を目指します

がん治療のための放射線機器として、最新の技術であるIMRT（トモセラピー）を始めとした3機種を導入します。トモセラピーは、体内を画像診断するCTと、放射線照射装置が一体となっているのが特徴。正常細胞を避けてがん細胞へ特化した放射線を当てられるので、少ない期間で効果が期待できます。また、今までの放射線治療ではできなかった変形した照射範囲が設定でき、多くの種類のがんへの治療が可能です。

市民病院は第3次救急医療機関として、かかりつけ医からの紹介による重篤な患者を救う役割を担っています。そのため、平日は開業医、土・日曜日・祝日は当直医療機関、夜間は医師会の夜間急病診療所（第1次救急医療機関）の受診をお願いしています。今後も計画的な施設改修や医療スタッフの確保などを図り、岡崎幸田地区で唯一の急性期総合病院として、より高度な医療サービスの提供を目指します。

市民病院事務局総務課 ☎ 66 ◆ 7006



①岡崎市民病院外観 ②外来
③病棟（4人床9室、2人床2室、個室10室）

